

SBSビジネスレポート

2012年12月期 第2四半期株主通信

2012年1月1日~2012年6月30日 証券コード:2384

特集

SBSグループ 経営体制の強化

INDEX

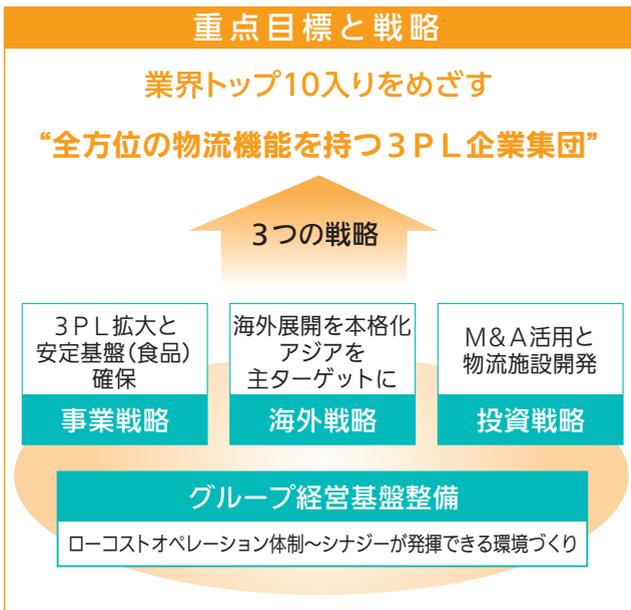
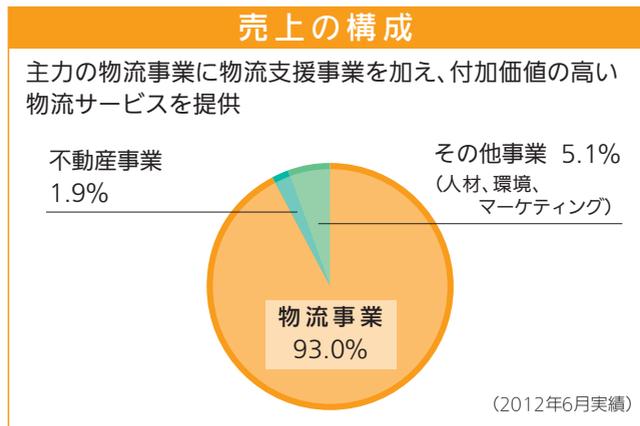
- 01 ビジネスハイライト
- 02 社長挨拶
- 03 特集
- 05 トピックス
- 07 連結業績
- 10 会社概要&株式の状況



SBSホールディングス株式会社

SBSグループ

SBSグループは、あらゆる物流ニーズに優れた品質でお応えします。



2012年計画

売上高	営業利益	1株当たり配当金
1,270億円	29億円	30円

※1株当たり配当金につきましては、株式分割・単元株制度移行後の金額を記載しています。
*株式分割、単元株制度の採用につきましては、巻末をご覧ください。



※本資料の将来の見通しに係わる記述は、現時点で入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確定な要素を含む仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。



国内組織の再編や、 海外拠点の整備を推進。 今後の成長への布石を打ちました。

代表取締役 鎌田 正彦

SBSグループは物流を中心として、お客様のサプライチェーン全体に多彩なサービスをご提供する総合アウトソーシング企業グループです。お客様が主力事業に経営資源を集中できる環境を整え、企業競争力と経営効率の向上を支援いたします。

景気は東日本大震災の復興需要などを背景に緩やかな回復の兆しはあるものの、欧州の財政金融不安や新興国経済の減速懸念、長引く円高やデフレによる影響など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。物流業界では、お客様の物流費抑制や同業者間の競争激化が続いており、採算性の維持が一段と厳しいものとなっております。

このような環境のもと、当社グループは新規営業を積極的に展開し、売上高を増加させることができました。また3PL事業の新たな拠点を国内に建設し、海外拠点の再編にも着手しました。さらにローコストオペレーション体制の整備、労務コンプライアンスの徹底など、今後の成長への布石を打つことができました。

下期につきましても、新規営業を基軸に着実に成果を積み上げるとともに、成長戦略を具現化していき、規模の拡大と企業価値の向上をめざしてまいります。

今後とも、末永くご支援賜りますようお願い申し上げます。

SBSグループ 経営体制の強化について

SBSグループは、さらなる事業規模の拡大をめざし、事業拠点の整備や子会社の再編など、国内外で経営体制の強化を図っています。

国内子会社の統合を進める

当社グループは、子会社の経営体質強化を目的に日本貨物急送株式会社を存続会社とする伊豆貨物急送株式会社との合併、ティーエルトランスポート株式会社を存続会社とするティーエルサービス株式会社との合併を行い、子会社再編を実施しました。

事業形態が相似する両社が合併し、事業運営や経営資源の見直しと管理体制の強化などにより業績の向上を図る一方で、長年蓄積した経験とノウハウを結集することで物流サービスを充実・進化させ、さらなる成長をめざすものです。

ASEAN地域の事業拠点整備に着手

インドの国際物流企業Atlas Logistics（以下、Atlas）を昨年10月に取得したのを機に、当社グループは海外展開の準備を進めてきました。まず100%子会社としてアジア地域を統括するSBS Logistics RHQ（以下、SLRHQ）をシンガポールに5月に設立。各国の事業会社を統括できる体制を整え、6月からはAtlasの現地法人を再編しながらASEAN地域の事業拠点整備に着手いたしました。

SLRHQからAtlasのシンガポール現地法人に出資したSBS Atlas Logistics Holdings（以下、SALHD）は、シンガポールにおける物流事業を担当

するほか、ASEAN各国の事業を統括する役割も担います。さらにSALHDを経由しAtlasのタイ現地法人Atlas Express Logisticsに出資し、社名をSBS Atlas Logisticsに変更しました。なお、Atlasのベトナムやマレーシアの現地法人も同社名に変更申請中です。

SBSグループは、ASEAN各国の物流事業拠点整備を進めるとともに、Atlasグループのフォワーディング事業に加えて、SBSグループの強みであるトータルロジスティクスソリューションをご提供できる体制を整えてまいります。

■子会社の再編状況

日本貨物急送と伊豆貨物急送を合併(7月1日)

日本貨物急送	
従業員	383名
拠点数	16か所
車両数	451台

+

伊豆貨物急送	
従業員	80名
拠点数	6か所
車両数	62台

⇒

NEW

日本貨物急送	
従業員	464名
拠点数	20か所
車両数	500台

ティーエルトランスポートとティーエルサービスを合併(7月1日)

ティーエルトランスポート	
従業員	255名
拠点数	14か所
車両数	160台

+

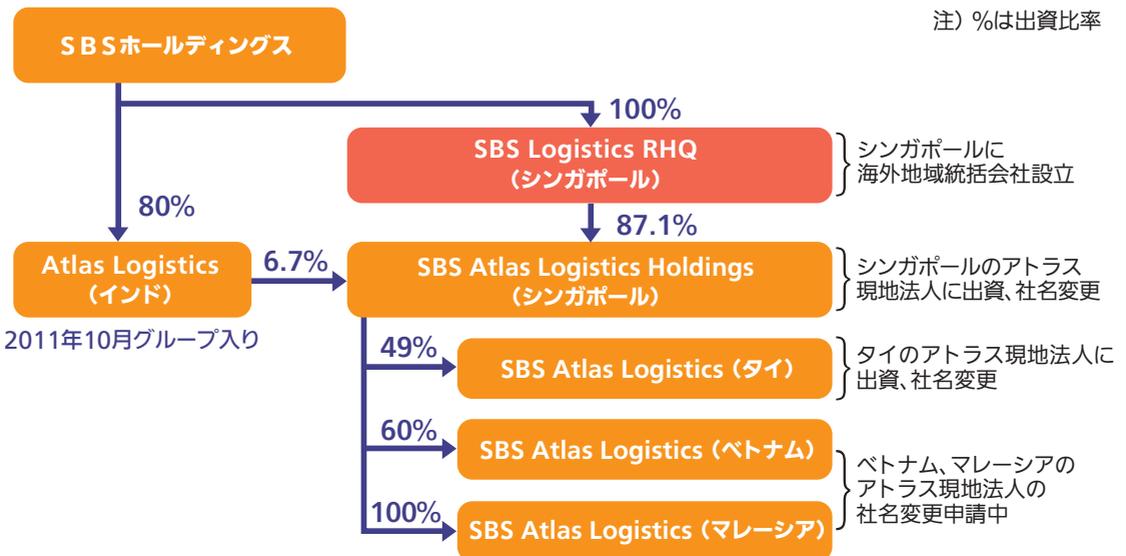
ティーエルサービス	
従業員	31名
拠点数	2か所
車両数	22台

⇒

NEW

ティーエルトランスポート	
従業員	281名
拠点数	14か所
車両数	155台

■ASEAN地域の拠点整備状況



SBSグループの取り組み

事業関連



横浜港に通関業務の拠点を開設

(エイシーシステムコーポレイション、(以下ACシステム))

1月 通関業務を行うACシステムは、横浜港国際流通センター内に横浜営業所を開設。同施設内にはティーエルロジコム海運支店もあり、連携による国際物流の強化を図ります。



野田吉春物流センター(仮称)が着工

(ティーエルロジコム)

1月 野田吉春物流センターの建設工事がスタート。9月末に完成予定の当該施設は、全館LED照明、太陽光発電設備などを備えた、環境にやさしいセンターです。



鉄道車両の船積み作業を実施

(ティーエルロジコム)

2月 横浜市の大黒埠頭から四国の伊予鉄道に向けた京王線旧車両の積み込み作業を実施。強風下での作業でしたが、6両を2船へ正確に積み込み、作業を完了しました。



市役所の大型移転業務を完了

(ティーエルロジコム)

3月 川崎市役所様が推進する「区役所快適化リフォーム事業」に伴う移転・リフォーム作業を受注。7区役所4出張所に及ぶ大規模な作業を実質9日間で完了させました。



改正派遣法セミナーを開催

(SBSスタッフ)

4月 10月から施行が予定されている「改正派遣法」。その影響をご心配されるお客様向けにセミナーを開催し、改正内容のポイントや施行後の対応についてご説明いたしました。



中国上海に樹脂加工工場を開設

(総合物流システム)

7月 総合物流システムは、中国・上海にアクリル樹脂加工工場「上海慶亜留塑料加工有限公司」を設立。店舗用什器や販促備品などの製造・加工業務を8月より開始しました。



CSR 関連


震災支援の感謝状を授与される

(ティーエルロジコム、SBSロジテム)

3月・5月 昨年の東日本大震災における被災地への支援活動に対し、ティーエルロジコムおよびSBSロジテムが、関東運輸局より感謝状を授与されました。


スマートクロックで節電中

(SBSロジテム)

4月 SBSロジテムは、時計の外周に現在の電気使用量を表示し、使いすぎた場合には色と警報音で警告する「スマートクロック」を導入。全員で節電に取り組んでいます。


東京都の新しいCO₂削減制度にSBSグループから5社が申請

6月 トラック1台毎の燃費を集計・評価し、CO₂削減を促す「東京都貨物輸送評価制度」にティーエルロジコム、全通、ティーエルトランスポート、ウイングトランスポート、日本レコードセンターが申請しました。



ティーエルロジコムは申請事業者第1号に。


コンプライアンス教育を強化

(SBSグループ)

上半期 運輸安全マネジメントセミナー(2・3月)、コンプライアンス研修(4・5月)、営業研修(6・7月)など、職種・職位などに応じてコンプライアンスを中心とした研修を実施。従業員の意識向上を図りました。


SBSグループ 2011年度のCO₂排出量集計

2011年度のSBSグループの環境データがまとまりました。車両および施設を合わせたCO₂の排出量は、71,180 tとなり、前年度より6,477 t、8%のCO₂排出量が削減されました。電力面では震災影響による大規模な節電が行われたことも要因として挙げられます。車両面についてはエコドライブが定着し、着実に成果が出てきているものと思われれます。



CO ₂ 排出量 (単位: t)	2011年度			2010年度		摘要
	排出量	改善率	台数	排出量	台数	
車両	57,895	9.3%	3,118	63,844	3,210	
施設	電力	12,610	6.1%		13,438	
	その他	675	—		375	ガス、水道など
合計	71,180	8.3%	3,118	77,657	3,210	

第2四半期の連結業績

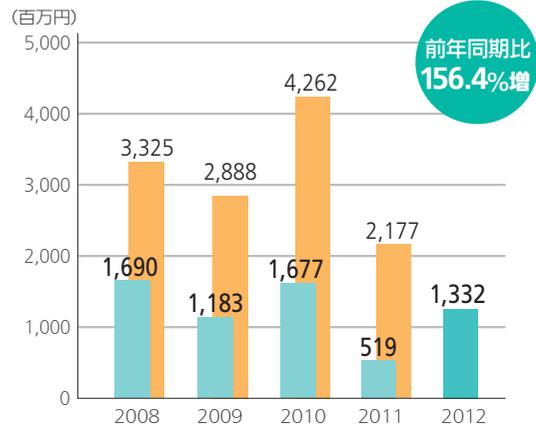
CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

厳しい経済環境が続いたものの、物流量に回復の兆しが見えるなか、業務拡大に取り組んだことや昨年会社化した企業の売上高がフルに寄与したことにより売上高は前年同期比で増加しました。また収益性の低い事業の見直しや改善を進めたことが奏功し、営業利益および経常利益も増加しました。四半期純利益は、前年同期に計上した災害による特別損失がなくなったこともあり、黒字に転じています。

■ 連結売上高



■ 連結営業利益



■ 連結経常利益



■ 連結四半期(当期)純利益



■ セグメント別概要

(単位:百万円)

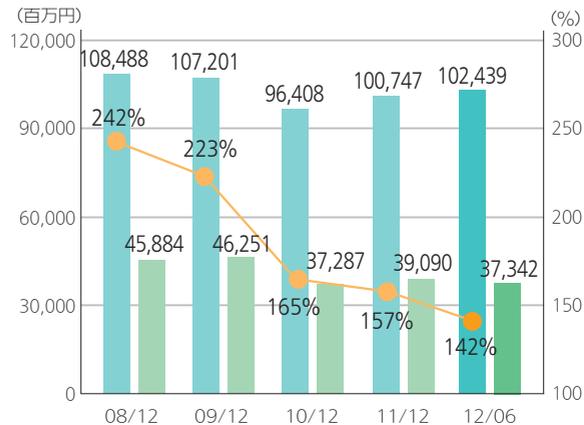
	2012年第2四半期		2011年第2四半期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
物流事業	58,734	683	54,079	81
不動産事業	1,209	594	1,203	644
その他事業	3,191	24	3,164	△219
調整額	△289	29	△424	13
合計	62,846	1,332	58,022	519

● **物流事業**：東日本大震災による物量低下の影響が解消したことやグループ入りした2社の業績が加わったこと、さらに食品関係の荷動きが活発であったことなどにより、売上高は増加しました。また不採算業務の改善が進んだことで、営業利益は増加しています。

● **物流支援事業**：不動産事業では施設の新たな稼働や販売などがなかったことから、売上高は横ばいとなりました。一方、その他事業では環境事業が黒字基調に転じたことにより、営業利益は黒字化いたしました。

■ 総資産／ネット有利子負債／ネット有利子負債率

■ 総資産 ■ ネット有利子負債 ● ネット有利子負債率



■ 純資産／自己資本比率

■ 純資産 ● 自己資本比率



利益配分に関する基本方針及び1株当たり配当金

1株当たり配当金の推移



※1株当たり配当金につきましては、株式分割・単元株制度移行後の金額を記載しています。

利益配分に関する基本方針

SBSグループは、株主の皆様への利益還元を経営の最重要施策のひとつと位置付けております。より強固な経営基盤の構築と株主資本利益率の向上を図ることにより、業績に配慮しつつ安定的な利益還元を努めています。

2012年12月期につきましては、1株は30円を予定しております。これは2012年1月1日から単元株制度を採用したことにより1株を100株に株式分割したため、単元株(100株)当たりでは3,000円となり、前期と同額となります。

*株式分割、単元株制度の採用につきましては、巻末をご覧ください。

2012年12月期 業績予想(セグメント別)

(単位:百万円)

	物 流	不 動 産	そ の 他	消 去 等	合 計
売 上 高	117,700	2,300	7,000	—	127,000
増減率	4.4%	△3.8%	15.6%	—	4.8%
営 業 利 益	1,776	1,060	70	△6	2,900
増減率	40.4%	△3.7%	—	—	33.2%
営 業 利 益 率	1.5%	46.1%	1.0%	—	2.3%

※業績予想の数値は、セグメント間の内部売上高を含んでいます。

会社概要 (2012年6月30日現在)

社名	SBSホールディングス株式会社
代表取締役	鎌田 正彦
創立	1987年12月16日
資本金	38億3,393万円
売上高	1,211億円(2011年12月期連結)
所在地	〒130-0012 東京都墨田区太平4-1-3 TEL:03-3829-2222(代表) FAX:03-3829-2822
事業内容	物流事業、不動産事業、マーケティング事業、人材事業 他
主要連結子会社	ティーエルロジコム株式会社 フーズレック株式会社 株式会社全通 SBSロジテム株式会社 SBSスタッフ株式会社 アトラスロジスティクスプライベートリミテッド 株式会社総合物流システム SBSファイナンス株式会社 株式会社エーマックス マーケティングパートナー株式会社 株式会社フォワード 株式会社ぱむ

役員 (2012年6月30日現在)

代表取締役	鎌田 正彦
常務取締役	入山 賢一
取締役	宮坂 文昭
取締役	渡邊 進一郎
常勤監査役	若林 民雄
監査役	正松本 重孝
監査役	竹田 正人
監査役	岩崎 二郎

監査役のうち、正松本重孝、竹田正人、岩崎二郎は社外監査役です。

株式の状況 (2012年6月30日現在)

発行可能株式総数	51,568,400株
発行済株式の総数	13,068,400株 (自己株式285,641株を含む)
単元株制度の有無	有
株主数	3,591名

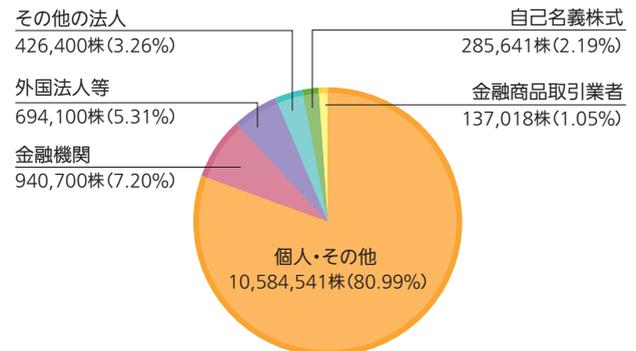
大株主の状況 (2012年6月30日現在)

株主名	持株数	持株比率(%)
鎌田 正彦	6,412,800	50.16
SBSホールディングス従業員持株会	497,600	3.89
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	446,800	3.49
伊達 寛	434,800	3.40
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニパス アカウント	334,800	2.61
大内 純一	309,400	2.42
メロン バンク エヌエー トリーティー クライアント オムニパス	200,000	1.56
吉岡 博之	188,900	1.47
株式会社スリーイーコーポレーション	156,000	1.22
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	124,200	0.97

※持株比率は自己株式(285,641株)を控除して計算しております。
なお、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)は、従業員持株会信託における再信託先であり、従業員持株会信託口が保有する当社株式359,900株を含んでおります。

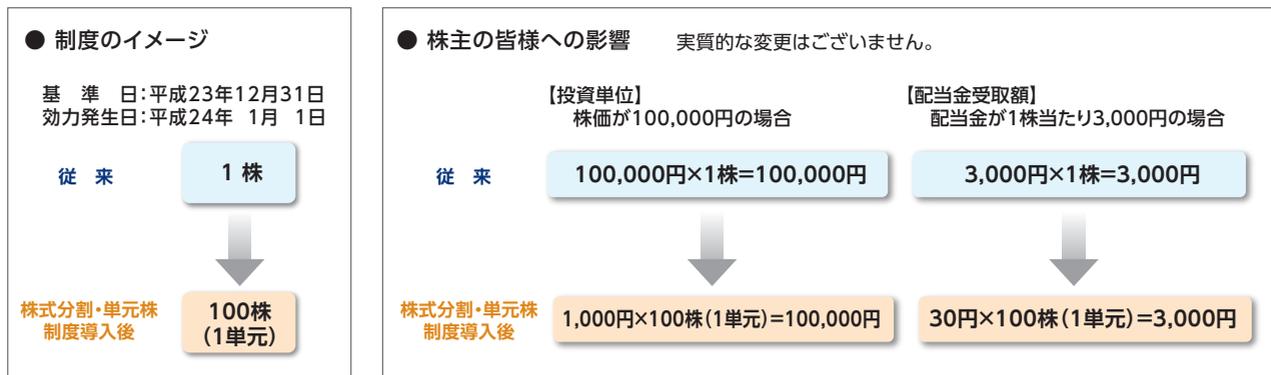
所有者別株式分布状況 (2012年6月30日現在)

(発行済株式総数: 13,068,400株)



株式分割・単元株制度の採用について

当社は、平成19年11月27日に全国証券取引所が公表した「売買単位の集約に向けた行動計画」の趣旨に鑑み、株式を分割し、100株を単元とする単元株制度を採用しました。なお、株式の分割・単元株制度導入に伴う株主の皆様への実質的な影響はございません。



株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社 連絡先 フリーダイヤル

0120-232-711

株主メモ

事業年度 1月1日～12月31日

期末配当金受領株主確定日 12月31日

定時株主総会 毎年3月開催

株主名簿管理人及び
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
0120-232-711(通話料無料)

上場証券取引所 大阪証券取引所 ジャスダック市場

公告方法 公告掲載URL <http://www.sbs-group.co.jp/>
※ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に公告いたします。

【ご注意】

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

SBSホールディングス株式会社

〒130-0012 東京都墨田区太平4-1-3 オリナスタワー
TEL:03-3829-2222(代表) FAX:03-3829-2822

